

多くの方は、成功したら「自分の能力や努力のおかげ」と考え、失敗したときは「運が悪かった」「環境が悪かった」と考えがちだそうです。これは「自己奉仕バイアス」と呼ばれ、自分のプライドや自尊心を保つための無意識の心の防衛機制ともいえます。いわゆる負け惜しみも、人間らしい心のバリアみたいなものですね。

社労士がズバリ! 職場のQ&A

今月のQ&A：【タイムカードの打刻について教えてください】

Q 飲食店の経営者です。スタッフの出退勤記録はタイムレコーダを使っています。最近、出勤時刻がほぼ同時刻なので不思議に思っていました。尋ねたところ最初に来た者が打ち忘れ防止のために勤務予定者全員分を打刻しているそうです。私はタイムカードは自ら打刻するものと思っていますが間違っているのでしょうか。

A 自社の就業規則で「出社時、退社時には自らタイムカードに打刻しなければならない」と定めていれば、他人のタイムカードを打刻する行為は就業規則違反になります。しかしながら法令に抵触しているとまではいえません。使用者には始業時刻と終業時刻を記録して労働時間を把握する義務があります。貴社は出退勤時にタイムカードに打刻させていますが、それに限らず他の方法でも労働時間を適切に把握していれば違法ではありません。最近では個人の持っているICカードやスマートフォンなどで出退勤時刻を記録するツールも普及してきました。これを機に検討してみてください。



光を放つ 名言コラム

【大人だって分からない】

「大人だって分からないことはいっぱいある」。絵本作家の五味太郎氏が朝日新聞の「素直な疑問」をテーマにしたインタビューでそう話していました。さらに子どもが発する素朴な疑問に、知っているふりをして答えるのは「たちが悪い」とも。大人は知っているから、知らない子どもに教えてあげる。世の中、なんとなくそういうことになっていて、インターネットがあれば何でも答えられそうな気がします。でも実際のところ多分、大人も大抵のことを分かっています。人の知識は限られているし、そもそも解明されていないことも多い。忙しくて本質的な問題を考えられない。個人の体験から得た教訓は普遍的とは限らない。しどろもどろになりながら、答えを絞り出すより、大人の沽券にかかわっても分からないことを認める。そうした誠実な態度は和やかな関係や新しい発想の素地になるのではないかな。そう思います。

気軽にLet's 英会話

今月のキーワード：【media】

10月からNHKの業務にインターネットサービス配信が加わります。NHKなどの「マスコミ」は“mass media”で、日本でも「マスメディア」といいますね。英語での発音は「マスミーディア」となります。ネット上で交流できる場を“SNS”といいますが、アメリカでは“social media”で、“This campaign went viral on social media.”は「このキャンペーンはSNSで話題になった」の意味です。“viral”は「ウイルス性の」という意味ですが、ここでは「バズる!」と解釈します。

忙しい朝、服のシワが気になったら、シワの部分霧吹きで少し湿らせてからドライヤーの温風を当ててみましょう。熱と水蒸気の力で細かいシワなら簡単に伸ばすことができます。アイロンを出し入れする時間がなく、急いでいるときに便利な裏ワザです。



ユウタとコハル

画：ゴハチ



振り向けばあそこにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【余白が生み出す新しい世界観】

効率化や最適化が「良いこと」とされた時代が長く続いたせいで、私たちはあらゆる無駄を削ぎ落とし、最短ルートでゴールを目指すことに慣れすぎてしまったように思います。しかし、常識がどんどん変わっていく中で「無駄のない状態」こそが、新しいアイデアや価値を生み出す最大の障害になっているのでは？と思うことが増えました。ある老舗和菓子屋の社長は、経営効率を上げるために職人の作業時間を1秒単位で短縮しようと試みました。一見、すべてが順調に進んでいるように見えたが、次第に職人の表情から活気が失われ、新しい季節商品のアイデアもまったく出なくなったそうです。そこで社長は、あえて「余白」を作ることを決意しました。毎日1時間、職人が自由に過ごせる「休憩時間ではない時間」を設けたのです。最初は戸惑っていた職人たちも、お互いの話をしたり散歩に出かけたりするようになると「川沿いの道端で見つけた珍しい花をモチーフにしたお菓子はどうか？」「子どもの頃の思い出のお菓子を再現してみよう」など、無駄に思えた時間から新しい商品が次々と生まれ、社員間のコミュニケーションも活発になるという好循環が生まれました。「ポストイット」や「電子レンジ」など、無駄な時間や遊び心から生まれたイノベーションは数多くあります。日々の仕事に追われ、頭が「やるべきこと」でいっぱいになっていると、新しい視点を持つことはなかなか難しいものです。一度立ち止まり、あえて「余白」を生み出してみる。その何もない「余白」から生まれる遊び心や探究心は、会社が成長していく土壌になるかもしれません。



ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【ザルファ世代】

Z世代とα世代を合わせた若年層を指す。1996年以降生まれでミレニアル世代の子どもにあたる。デジタルと共に育ったデジタルネイティブであるもののアナログを好み、儉約思考でコストパフォーマンスを重視するなどの傾向がある。2025年時点で世界人口の約47%を占めるため、多くの分野の企業が注目している。

事務所公式LINEを始めました。
法改正など必要な情報を短い動画
で配信していきます。
ぜひ登録してください！



就業規則・給与計算・有休の相談などなら
社会保険労務士・行政書士 中奥事務所
〒668-0024
兵庫県豊岡市寿町5-3
電話：0796-24-8677
FAX：0796-24-8678

